

この1年間は、総務建設常任委員会、議会改革特別委員会、予算特別委員会(9月)にて、それぞれ委員長の大役を拝命し、数々の議案に熟考を重ねる日々でした。私が議決する際の判断基準は、常に「市民のためになるか」です。納得できない提案には、毅然と反対討論ができる自分であろうと思います。信頼される身近な市議会議員、恩送りの街づくりを目指し、これからも初心を忘れずに研鑽を続けます。



葛城市議会議員
梨本ひろき プロフィール

- 昭和45年3月20日生まれ O型
- 昭和57年 新庄町立新庄北小学校 卒業
- 昭和60年 新庄町立新庄中学校 卒業
- 昭和63年 私立清風学園高等学校 卒業
- 平成 6年 梨本商店(現 株式会社梨本商店)入社
- 平成26年 株式会社ペア・エモーション設立
- 平成29年 大阪市立大学 経済学部 入学(在学中)
葛城市議会議員選挙 初当選
- 令和 3年 葛城市議会議員選挙 2期目 当選



梨本ひろき ホームページ
<https://nashimoto-hiroki.com/>

*バックナンバーご希望の方は下記までお気軽にご連絡ください。

10 | 2022. Autumn

葛城市を根本的に良くするために
市長の政治姿勢を問う



令和4年
9月議会

一般質問



私の質問の動画です。ぜひご覧ください！
パソコンの場合は梨本ひろきホームページの
お知らせ欄をクリック

梨本ひろき [GO](#)



Q.1

豪雨発生時の市民への 情報提供について



集中豪雨はこの30年ほどで1.4倍に。
水害とは無縁であった葛城市でも、いつ発生するかわからない。
現に8月10日の午後、豪雨が 발생し、市内の河川等が危険な状況に…

そこで、豪雨災害時のマニュアルや対応の改善を
求めました。



Q.2

産官学連携について



地域活性化のために産官学連携は重要。
2021年6月に質問し、前向きな答弁から1年余りが経過。
現在、葛城市の産官学連携の状況と今後の取組予定を質問。

大きな課題である「人口問題」「地域のブランド力向上」に
ついて解決手段の一つとなる可能性のあるため、
積極的な推進を求めました。



大阪公立大学の学生20名が 葛城市でフィールドワーク

私の師事する松本教授(経済学部)の取り計らいで、
ゼミ生と市職員の意見交換会が実現しました。



松本ゼミでは
『地域への“関心”度合いの高いファンをどう創っていくのか』
をテーマに、複数の地方自治体と連携した研究が進んでいます。



この交流をキッカケに、葛城市も官学の関わりが深まり
地域活性化に繋がればと期待します。

クリーンセンターの契約事務調査で「職員の非違行為」が発覚したことによる市長の給与減額(1ヶ月10%)議案に**反対**



視点2 処分時期

2020年度の当該事業について少なくとも2021年5月の時点で市長は問題があることを認識していた。



しかし、**調査を放置**し、昨年9月議会の私の一般質問や決算特別委員会でもはぐらかし、12月議会の私の一般質問に言い逃れができなくなって、ようやく調査に乗り出した。



その結果
決裁文書にも手が加えられ、問題が更に大きくなり処分も1年遅れとなった。



調査を怠り
適切な時期に処分しなかったことについて、説明がないままに、処分だけを受け入れることはできない。

阿古市長は前市政下での契約事務の不正を指摘し、多くの市民に正すことを期待されて誕生しただけに、未だこのような問題が発覚するのは残念です。

報告書は個人の懈怠という言葉でまとめられていますが本当は組織的に問題があるのではないのでしょうか。内部の調査だけでは限界があるため、今回の調査報告書で終わりというのは納得がいきません。



市長は非違行為を意図的に見過ごしていたのでは??

2つの視点から反対しました。

視点1 とるべき責任

調査報告書によると、職員の懈怠による不適切な契約事務が発生し、**公文書の不实記載や、工事の証拠となる現場写真の欠損が、多数発生!!**



しかし、職員個人の権限だけで、支払の完了まで、できるはずがない。その過程においては、何らかの**組織的な隠蔽や歪曲**があったはず…



市長は、管理監督責任として、自身にこの処分を課すとのことだが、契約事務書類には、**市長が最終決裁権者として押印した書類が多数ある**。契約事務文書の日付がおかしい事が分かっているのに押印しているのなら、文書の偽造作成に、直接的に加担したことになる。つまり市長が取るべき責任は、間接的な管理監督責任だけでなく、直接的に非違行為に関わった執行責任と考える。

